

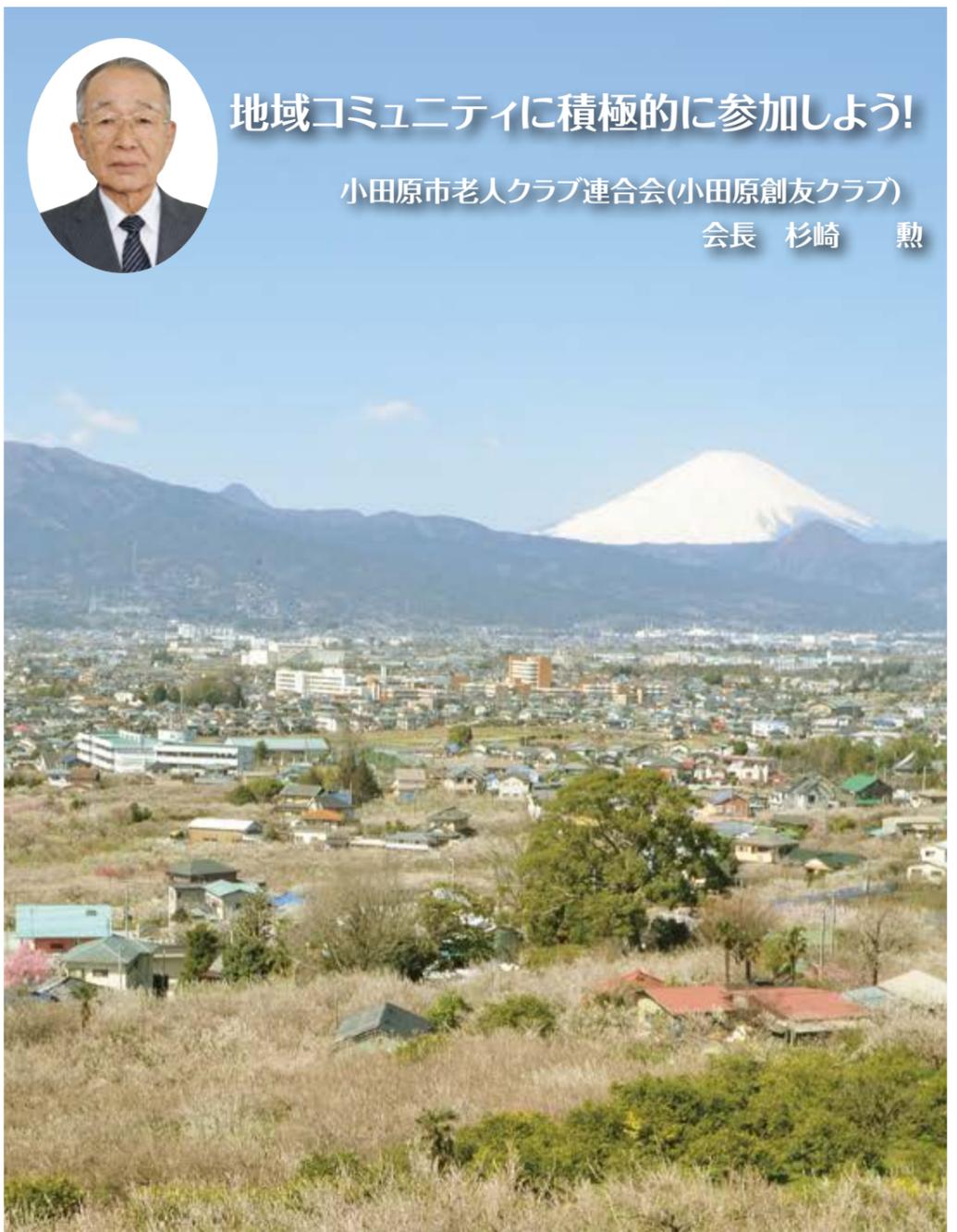
小田原創友クラブ

第 68 号

【発行】小田原市老人クラブ連合会
〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】(株)博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)

明けましておめでとございませす。
皆様、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。
昨年(会計年度)はクラブ創立50周年を行政はじめ会員の皆様のご協力をいただき立派な大会が挙行でき、改めて御礼申し上げます。
また前年(28年)1月には市より創友クラブが市民功労賞を受賞致し、身の引き締まる思いです。受賞理由としては健康問題の啓発に創友クラブが尽力したことが評価されたと思います。今後も老人大学



地域コミュニティに積極的に参加しよう!

小田原市老人クラブ連合会(小田原創友クラブ)

会長 杉崎 勲

での医療問題の講義、体力測定の実施など医療問題に関しては、一層の努力をしていかなければならない問題と再認識したところがございます。
皆様すでに「ご存じかと思いますが、昨年8月下旬に平成27年度の国の医療費が約42兆円と膨大な数字でした。健康保険制度により私たちは医療費の負担が軽減されその恩恵を享受しておりますが、身近な問題としてわが身にも降りかかります。総額の7割弱が高齢者のようですから、私どもは真摯に受け止める問題と考え、早期診断、

早期治療を心掛けるべきと思えます。
少子高齢化社会が到来し、地域における連帯感や近所付き合いが少なくなる中、創友クラブとして各地区で行われている地域コミュニティに積極的に参加して、地域のリーダーとしての行動を是非行っていただきます様をお願い申し上げます。
結びに本年が明るく楽しい年でありませ様に、重ねて皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

新年を迎えて



小田原市長 加藤 憲一

明けましておめでとござい
ます。

小田原市老人クラブ連合会の
皆様方におかれましては、健やか
に新年をお迎えのことと心から
お慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、日ごろ
から、地域の清掃活動や友愛活
動、健康づくりに関する活動な
ど、様々な取り組みを精力的に

実施され、地域福祉の向上に貢
献いただいておりますことを厚
くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、
熊本地震・鳥取地震といった大規
模な災害が発生し、特に熊本地
震は、人的・経済的・文化的に甚
大な被害を九州地方にもたらし
ました。この状況に際して本市
では、小田原城天守閣リニューアル
初日の入場料や市民の皆様
の温かい気持ちによる募金を寄付
するとともに、熊本県内に職員
を派遣するなど、復興に向けた
支援に尽力しました。

また、小田原市老人クラブ連
合会からも、多大な義援金をお
預かりし、被災地にお渡しいたし

ました。皆様のご支援に大変感
銘を受けるとともに、これからの
活動を通して、震災などの非常
時に、お互いに助け合い、協力し
あうことの大切さを改めて実感
したところです。

市民生活の基盤である地域コ
ミュニティは、急速な人口減少少
子高齢化の進行に伴い衰退しつ
つあり、日常生活にも様々な形
で影響をみせています。こうし
た厳しい局面を乗り越え、持続
可能な地域社会を実現するため
には、一人ではできない部分を
地域の方々が補い、見守り、支え
合って生活をしていく必要があ
ります。

日頃から地域でのボランティア

活動、見守り活動などで、住民
の安全を身近なところから守る
皆様の活動は、少子高齢化社会
が抱える諸問題を解決へと導く
物であり、住民生活の模範となっ
ております。

今後とも、豊かな地域社会の
担い手として、皆様が生躍され
ることに大きな期待を寄せてお
りますので、これからも市政の
様々な面での協力を賜ります
ようお願い申し上げます。

結びに、小田原市老人クラブ
連合会並びに各老人クラブのま
ますの御発展、そして今年一
年が皆様方にとりまして素晴ら
しい年でありますよう、心から祈
念いたします。

皆様の元気が

地域の元氣!



小田原市議会議員
武松 忠

明けましておめでとござい
ます。

平成29年の輝かしい新春を迎
え、小田原市老人クラブ連合会
の皆様方におかれましては、希
望あふれる新春をお迎えのこと
と、心よりお慶び申し上げます。
貴会におかれましては、平素
から地域の緑化推進や清掃活動

といったボランティア活動をはじ
め、幅広い事業を自主的に行わ
れ、市政の推進に多大なる御協
力を賜り、厚く御礼申し上げま
す。

さて、総務省の統計調査によ
りますと、働く意思と能力を持
ち、就業や求職されている65歳
以上のかたは全国的に744万
人おり、高齢者のおよそ5人に
1人が仕事を通して社会での活
躍を望まれていることを示して
おります。

こうした数字に表れているよ
うに、多くのかたが「高齢者」と
いう言葉にとらわれず、仕事や
趣味、地域活動など、精力的に活

動されるようになってまいりまし
た。

いつまでも元気に活動を続け
たいと考えるかたが増える中、
豊富な人生経験や知識、幅広い
人間関係を活かす場を提供し、
その活動をサポートしていくこ
とが、今後のまちづくりには必
要不可欠であり、貴会の果たさ
れる役割は、今後ますます重要
になっていくものと考えておりま
す。

市議会といたしましても、誰
もが明るく活気に満ち、健康で
生きがい溢れる生活を送ること
ができる社会の実現に向けて努
力してまいります。そのために



は、皆様のお力添えが是非とも
必要でありますので、本年も、変
わらぬ御支援・御協力をお願い
申し上げます。

結びに、貴会のみならずの御
発展と、会員の皆様方の御健勝
をお祈り申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

新年を迎えて

小田原市福祉健康部長
日比谷 正人



新年、明けましておめでとうございませう。

小田原市老人クラブ連合会の皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より市政運営に對しまして、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新年のご挨拶

小田原市社会福祉協議会
常務理事 露木 康男



明けましておめでとございませう。

小田原市老人クラブ連合会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から社会福祉協議会の運営に種々ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。
昨年は、リオ・オリンピックでの

さて、少子高齢化が進行する中、高齢者施策は大きな転換点を迎えております。増え続ける社会保障費や若年層の負担を考えると、これからは、元気で意欲のある方に、年齢を重ねてからも、支えられるより支える側の役割を担っていただきたく期待を寄せているとございませう。

健康寿命という言葉がありませうが、健康寿命とは健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。寿命と健康寿命の差が短いほど、人生の中で介護や介助を必要とせず自立して自分らしく自由に過ごすことができる期間

が長いということになります。そのためにも、いつまでも社会的な場に出て、適度に身体を動かすことで、御自身も、ずっと自分らしく、豊かな生活を送り続けてほしいと考えています。

このような観点から、小田原市では「プロダクティブエイジング」や「ケアタウン構想」を提唱し、高齢者の社会的な生産活動や、地域の方々の互助の取り組みを推進しているとございませう。

そのような中、日頃地域にお住まいの方々の心身の健康や社会参加を促進し、良好な「ミニコミュニティ」に貢献されている小田原市老人クラブ連合会の皆様

先行きの不安は増すばかりであります。

しかし、だからこそ私達は、地に足を付けて、今直面する高齢化社会を、何があっても地域でお互いに助け合いながら、誰もが生きがいを持って元気に暮らしていけるようにするために、ひとり一人が何をすべきかを真剣に考えていかなければならないと思っております。

老人クラブの皆さんに望むことは、一つには自らの体の健康管理、二つには近隣の皆さんとの交流による仲間づくり、三つには自分の知識や経験を活かした地域活動への参加と貢献であります。

の存在や役割は、ますます重みを増していくものであり、これからも市政の様々な面でお力を御發揮いただきたく存じます。

結びに、この新しい年が小田原市老人クラブ連合会並びに各老人クラブの皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、心から祈念申し上げます。



これらはまさに老人クラブが日頃から活動方針として提唱していることでありまして、これからの地域コミュニティを支える大きな力になるものだと思います。地域の繋がりの強化が望まれる今、老人クラブの皆さんの活動への期待は高まるばかりであります。

皆様方に一層のご活躍を期待いたしますとともに、今年1年が皆様方にとりまして素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第51回小田原市老人クラブ連合会 大会が開催された

平成28年11月15日(火)小田原市民会館において、第51回小田原市老人クラブ連合会大会が開催されました。

参加者は来賓12名と被表彰者19名、常任理事、監事が壇上に並び、大友副会長の司会によって進行され、北村副会長の開会のことば、君が代斉唱、物故会員の追悼の儀に続いて、杉崎会長から主催者を代表して挨拶をされました。

つづいて、永年にわたり老人クラブ活動に功績のあった一団体と、老人クラブの発展に寄与された会長職6年以上の方9名、会長職以外の3役10年以上の方々に表彰状が授与されました。

次に、被表彰者を代表して十字地区西海子クラブ 俵 一郎会長から謝辞を述べられました。



次に、小田原市長 加藤憲一様、市議会議員 武松忠様、神奈川県川尻議員 小澤良史様、小田原市自治会総連合会長 木村秀昭様からお祝いと、励ましの祝辞を頂きました。心から御礼申し上げます。

つづいて、ご来賓の方々の紹介と祝電の紹介があり、山口副会長の音頭により宣言文を一同で朗読後、市川副会長の閉会の言葉で式典を終りました。

昼食後、第2部の各地区芸能大会が24地区の出演で浅岡財務担当と市川副会長の司会で盛大に開催されました。

大正琴や手品、フラダンス、舞踊、合唱など各チームともに皆様元気で素晴らしい芸を披露していただきました。また、会場で大勢の会員から友愛募金に多額のご協力を頂き感謝申し上げます。

(教養部長 山口 繁)



小田原創友クラブ グラウンドゴルフ大会開催

小田原市創友クラブ恒例のグラウンドゴルフ大会が、11月9日(水)酒匂川スポーツ広場に小田原市福祉健康部長はじめ、多数のご来賓をお迎えして開催されました。

開会式は大友副会長の司会で始まり、北村副会長の開会の言葉、大会会長の杉崎会長から挨拶がありました。続いて来賓の小田原市福祉健康部部長の日比谷正人様より祝辞を頂きました。

片山体育部員の競技説明の後、全員で準備体操を行い、選手は各スタートホールに移動し鈴木体育副部長の競技開始合図でスタートしました。

今回の大会参加選手は50名で、競技は午前中に2ラウンド、午後より1ラウンドを行い予定通りに競技を終了しました。また、選手の成績は3ラウンドのトータルで順位を決定しました。

閉会式は選手及び役員が整列し、片山部員による成績発表と大会会長の杉崎会長より表彰と賞品授与が行われました。

杉崎会長より今大会のコメントとして「近年にない好成績の大会でした。特に3位までが10アンダー以上のスコアで素晴らしい」

最後に山口副会長の閉会の言葉で大会を終了しました。

各地区の選手及び競技審判員の方々ご協力ありがとうございました。

(体育部長 志村 善治)



大会結果(5位までの選手・敬称略)(スコア)

順位	地区	氏名	スコア
優勝	桜井地区	秋澤 正勝	60
準優勝	万年地区	柳下 勲	61
第3位	酒匂地区	大川 陞一	62
第4位	緑地区	杉山 光義	65
第5位	富士見地区	加藤 昭弘	67

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

第43回 小田原市シルバースポーツ大会

10月25日(火)酒匂川スポーツ広場に小田原市副市長はじめ、多数のご来賓をお迎えしてシルバースポーツ大会が開催されました。

開会式は市老連旗と26地区の地区連旗を先頭に選手入場を行い、北村副会長の「開会の言葉」の後、国旗、市旗の掲揚、君が代斉唱に続き前年度優勝の十字地区の優勝杯返還を行いました。続いて杉崎会長の挨拶、来賓祝辞選手宣誓と準備体操を経て競技が開始されました。

開会式ごろの天候は快晴で絶好のスポーツ大会日和でした。個人種目、団体種目ともに午前中の競技がスムーズに進行し、玉入れ競技での盛り上がり最高に達しておりました。しかしその後天候が急変して、競技続行不可能になり午後の競技を中止することになり、午前中の得点で順位を決定しました。

今回は途中水入りとなり、午後から挽回をと意気込んでいたチームには残念でした。来年度の大会には頑張りましょう。各地区の選手、応援団の方々ご協力ありがとうございました。

(体育部長 志村 善治)



第26位	第25位	第24位	第23位	第22位	第21位	第20位	第19位	第18位	第17位	第16位	第15位	第14位	第13位	第12位	第11位	第10位	第9位	第8位	第7位	第6位	第5位	第4位	第3位	準優勝	優勝	順位
東富水	芦子	幸	国府津	早川	万年	酒匂	新玉	豊川	富水	久野	足柄	下中	上府中	大窪	二川	十字	山王網一色	下府中	前羽	桜井	緑	富士見	片浦	下曾我	曾我	地区

大会結果



平成28年度 生きがいふれあいフェスティバル 第48回シルバークラフト作品展開催

平成28年10月15日(土)と16日(日)の2日間シルバークラフト作品展が開催されました。作品は27年度に比べて若干少なくなりましたが、内容は年々レベルが上がり見学者から注目される作品が多々ありました。

16日は三世交代交流事業が開催され、例年通り竹細工折紙紙に人気があり、子どもたちが楽しんでいました。また、餅つきや焼きそばには長い行列が続ぎ、予定量を時間内に終了しました。

今回も最高齢者の出展に対して男性は前羽地区の杉崎稔さんに、女性は曾我地区の市川登志

(厚生部長 北村 時夫)

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

十字地区

友和会

● 会員数 会長 辻 善治

● クラブ結成時期 平成 11 年 4 月 1 日



クラブの現況

友和会は国道 1 号線を箱根方面へ諸白小路バス停から JR 高架線までの商店や住宅街の 29 区自治会内に在住する会員で組織している。

従来から会員意識は極めて低く無関心で、集まらない等、例えば市老連のスポーツ大会は、毎年 20 位以下の状況であった。

平成 23 年度に会の立て直しを検討した。当面市老連の行事に地区老連を通して積極的に参加する事にし、独自の活動は考えない事にした。

クラブの活動

① 定例会の開催 毎月 1 回定例会を開催して、会員相互の意思疎通と情報の伝達を行っている。

② カラオケクラブの活動 会の活動が動き出すと会員の話し合いで 24 年 2 月にカラオケのグループが誕生した。会員は数人だが毎月 2 回会員宅で活動している。27 年度は 22 回、延べ 132 名が参加した。

③ 神社の清掃作業 町内に市文化財指定の天神社があり、1 月 5 月 9 月の 25 日に例祭が行われる。その 2 3 日前に境内の清掃作業を行っている。清掃日には昼食会を行っている。27 年度は 3 回で延べ 28 名が参加した。



子通りが通っているの、その西海子をとってクラブ名にしたと推測される。

③ クラブ活動 早朝のラジオ体操、筋トレ、新年会、バス旅行等を行っている。

28 年度の作品展には絵手紙 7 名、ちぎり絵 4 名が展示した。

自治会の行事にも積極的に参加している。

課題 若年層の会員加入がなく、また役員になる人がいない。

(文 西海子クラブ 俵 二郎)

三十四区ことぶき会

会長 篠田 康光

和会老人クラブ

会長 高橋 康隆

むつみ会

会長 椎野 政秋

● 会員数

男性 69 名

女性 97 名

合計 166 名

クラブの現況

足柄の名は「足柄山」とか、「足柄の関」で名高いが、私達

東富水地区

堀之内第一寿会

会長 小林 隆

堀之内第二寿会

会長 倉持 三郎

堀之内第三福寿会

会長 和田 勝彦

第一瑩老会

会長 鈴木 茂

中曾根寿会

会長 木村 幸夫

飯田岡東寿会

会長 本間 豊

ゆうゆうクラブ

会長 杉山 次郎

● 会員数

男性 147 名

女性 241 名

合計 388 名

クラブの活動

東富水地区は、酒匂川と小田急線の間位置し、名前の由来通り地下水が豊富などです。今でも井戸を使用している家があります。

単位クラブは、7クラブあり夫々独自の活動を行っています。



他の団体との連携

地区社協とは一緒に「絆ふかめたい東富水」事業を他の各種団体と共に立ち上げて高齢者の見回り活動、子どもの下校時の見守り等を行っています。

自治会とは酒匂川の一斉清掃や、年末、新年にかけて三世代交流活動を実施しています。また老人会への新会員加入の協力をお願いしています。

意思疎通と情報伝達 単位クラブが多いので情報の伝達には特に注意を払っている。毎月の定例会長会議で報告して各単位数員に伝えるようにしています。

また、会長・副会長・会計の三役研修旅行を行い、各単位クラブの問題点を検討して解決し、連携を深めています。

今後の対応として高齢化が進む中で、新会員が入会しない原因を究明し、クラブとして中身の濃い魅力ある活動を進めて、皆が楽しめるクラブ作りを行います。

(文 東富水地区連合会長 本間 豊)

単位クラブ 活動報告



日帰りバス旅行 昨年は伊豆フルーツパークのメロン狩りに参加しました。また三島のスカイウォークの大吊橋からの駿河湾が美しく、沼津の御用邸も好評でした。

一泊の入湯会は伊東温泉が多く、毎年実施しています。

(文 むつみ会 椎野 政秋)

豊川地区



・東成田清寿会の清掃活動
私たちは奉仕活動として成田公民館・成田三島神社・成田公園の清掃作業を行っていま...

クラブの活動

- 飯泉西組清寿会 会長 上杉 馨
飯泉南組清寿会 会長 水野 宏
飯泉北組清寿会 会長 関 春男
東成田清寿会 会長 守屋 良正
西成田清寿会 会長 村山 照雄
桑原清寿会 会長 澤地 功

ルの所にあつて、櫻、ヒマラヤ杉、梅等、二十数本、周囲に珊瑚樹のある見通しの良い明るい公園です。月に2回、花壇の手入れや園内外の清掃作業を行なっています。南側にある花壇に年に2回、花々を植栽しますが、昨年の年末に300株のパンジーの苗を植えました。春にはひまわりの種を蒔く予定であります。

このひまわりは『はるかのはまわり』と言ひ、22年前の阪神大震災で亡くなった神戸の少女の自宅跡地に咲いたひまわりの花が始まりです。種が年々受け継がれて来た『はるかのはまわり絆プロジェクト』のひまわりで、成田公園では4年目になります。今後は小田原市内にも広めていきたいと考えております。
近隣の保育園、幼稚園等の課外授業で大勢の子どもたちが見学に来ます。元気いっぱいの声を聴いていると、花壇の手入れや園内外の清掃作業に取り組み高齢者に元気を与えてくれます。
散歩やウォーキングでこの近くを通られる際は是非立ち寄ってください。ベンチや切り株の椅子等利用して下さい。尚、ひまわりの種が欲しい方は、連絡ください。
TEL(37)0003
会長 守屋 良正
(文・東成田清寿会 守屋 良正)

足柄地区

の足柄地区は酒匂川に架かる小田原大橋から始まる県道に沿った一帯にあります。当初は5つのクラブでしたが、会員の高齢化や役員不足等が原因で最近二つのクラブが消滅し、現在は前述の三つのクラブで活動しています。加入率の低さを指摘され、加入増強を課題に創友会加入促進

れる健康年齢の向上を図り、少しでも社会のお役に立てたらと願っております。地域の方々からも喜ばれているところです。
成田山への初詣は長く続いている慣例行事で、毎回OBの参加もあって旧交を温める良い機会になっています。



大窪地区

- 白寿会 会長 秋山 玲子
大窪六十一区長寿会 会長 川野 隆仁
緑寿会 会長 小笠原 誠
大窪五十九区寿会 会長 鈴木 幸一

クラブの現況

大窪地区は箱根の入り口にあって、板橋風祭地蔵尊で知られている地区です。老人会は4クラブあります

が、活動は単位クラブごとに行ひ、合同での活動はシルバースポーツ大会・市老連大会・年2回の研修旅行で合同参加で活動しております。

クラブの活動

・緑寿会
会員の結束が良く、公園や神社の清掃作業、誕生会、新年会、花見の会などの活動に会員が元気で楽しんで参加しております。

白寿会

神社、公園、公民館の清掃作業を、思いやりの精神で助けあつて活動しています。

大窪五十九区寿会

足が不自由な会員も親睦会の開催を楽しみにしており、継続開催を計画しています。

また、神社の清掃作業、自治会の美化運動への参加、花壇の植え替え作業(年2回)板橋駅周辺・公民館周辺・南板橋公園)を継続して実施していきます。

(文・大窪地区連合会長 鈴木 幸一)



- 大窪六十一区長寿会 会長 川野 隆仁

●会員数

Table with 2 columns: Gender (男性, 女性) and Count (36名, 54名). Total count is 90名.

クラブ結成時期 昭和39年4月1日

●会名の名称

会結成時には「小田原市六十一区老人クラブ長寿会」でしたが平成21年2月1日に現在の「大窪六十一区長寿会」に改名しました。

●会の活動

◎親睦会と役員会の開催
毎月第1水曜日に開催し、市老連・自治会その他活動の情報伝達と、行事への積極参加の呼びかけと、互いの健康増進と親睦を図っております。また役員会では会の運営について意見交換を行っております。

◎神社・遊園地の清掃作業

毎月10日に氏神様の居神社境内とその周辺の清掃作業、毎月26日には板橋地蔵尊遊園地の清掃作業を実施し、春秋の年2回遊園地



の花壇とプランターに花の植え替え作業を実施しています。

入湯会の実施

会員相互のコミュニケーションを図るため年に2回の入湯会を実施して有意義な時間を過ごしています。

趣味の会の活動

グラウンドゴルフ部・カラオケ部・民謡部・囲碁将棋部があり夫々和やかに活動しております。民謡部は会員が名取の先生のため直々の指導を受けております。囲碁将棋部は大窪地区社会福祉協議会の「囲碁将棋倶楽部」となり大勢の会員で賑わっております。

小学校児童の登・下校時の見守り活動を行っております。特に下校時は複数個所に多数の会員が参加して活動しています。今後も継続して実施していく予定です。

(文・大窪六十一区長寿会 川野 隆仁)

市老連主要行事報告

（平成28年4月～平成28年9月分）

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
4	3/27~29	春季研修旅行	第1班 久野・東富水・芦子・片浦・下府中・大窪・早川・足柄・山王網一色・富士見	「桜の名所と世界遺産を訪ねて」 参加者292名
	30~4/1		第2班 曾我・上府中・下中・国府津・豊川・桜井	
	3~5		第3班 前羽・新玉・万年・下曾我・緑・富水・幸・十字・二川	
	12	女性部会	平成28年度栄養教室レシピ検討会	保健センター
	13	財務部会	平成27年度決算について	
	19	西湘ブロック連絡協議会	・事業計画について ・県老連委託事業について ・情報交換	おだわら総合医療福祉会館
21	常任理事会 監査 理事会	・平成27年度事業報告及び各会計収入支出決算報告について ・監査 ・総会について 他		
28	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	・「食で生き生き!栄養教室」 (Bブロック 十字・大窪・早川・片浦地区対象)	早川公民館	
5	10	慰霊塔清掃	桜井・足柄・幸地区	市慰霊塔
	11	常任理事会 理事会	・平成28年度事業計画及び各会計収入支出予算案について ・総会について ・加入促進について ・友愛チームリーダー研修会について ・老人大学について 他	おだわら総合医療福祉会館
	18	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	・「食で生き生き!栄養教室」 (Dブロック 富水・東富水・桜井地区対象)	尊徳記念館
	19	総 会	・平成27年度事業報告及び各会計収入支出決算報告について [監査報告]・平成28年度事業計画及び各会計収入支出予算案について	おだわら総合医療福祉会館
	25	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	・「食で生き生き!栄養教室」 (Cブロック足柄・芦子・二川・久野地区対象)	芦子小学校
	31	西湘ブロック交流 グラウンドゴルフ 大会 *参加者100名	・準備 ・大会開催	酒匂川 スポーツ広場
6	9	常任理事会 理事会	・平成27年度県老連理事長表彰について ・友愛活動支援事業(女性部のつどい)について ・「市町村老連実態調査」における会員年齢構成調査について ・西湘ブロック単位クラブリーダー新任会長等研修について 他	おだわら総合医療福祉会館
	10	慰霊塔清掃	大窪・国府津地区	市慰霊塔
	27	友愛チーム リーダー研修会	・基調講演 「友愛チームの活動について」 講師 神奈川県老人クラブ連合会 活動推進員 松田 冴子 氏 ・事例発表 「山王友愛チームの活動状況について」 講師 山王網一色地区山王友愛チーム 代表 山口 繁 氏 ・質疑応答・情報交換	おだわら総合医療福祉会館
	29	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	・「食で生き生き!栄養教室」 (Dブロック 桜井・富水・東富水地区対象)	尊徳記念館
7	9	慰霊塔清掃	早川・下府中・緑・富士見	市慰霊塔
	11	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	・「食で生き生き!栄養教室」 (Cブロック 足柄・芦子・二川・久野地区対象)	芦子小学校
	12	西湘ブロック 「単位クラブ リーダー・ 新任会長等 研修会」	講演「ロコモティブシンドローム ～元気に活動しよう～ 講師 リハビリセンター楽動 管理者・作業療養士 河野 圭介 氏 講演「老人クラブリーダーの役割」 講師 公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会 事務局 佐々木 敏隆 氏	真鶴町 町民センター
	13	常任理事会 理事会	・西湘ブロック「ゆめクラブ大学」について ・健康づくり事業「体力測定(健康づくり教室)」について ・シルバー作品展について ・秋季研修旅行について ・米寿(88歳)会員の調査および贈呈金の確認について 他	おだわら総合医療福祉会館
		常任理事会 厚生部会	・秋季研修旅行見積検討会	
	22	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	・「食で生き生き!栄養教室」 (Aブロック 緑・新玉・万年・幸地区対象)	保健センター
28	老人大学 第1回 受講者と医師との 対話集会 第1回	・開講式 ・講話「認知症について」 講師 武井内科医院/院長 武井 和夫 先生	おだわら総合医療福祉会館	

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
8	3	友愛活動 支援事業 「女性部の つどい」	・講話 「女性の筋力低下は宿命か?」 ～問題と解決法をさぐる～ 講師 神奈川県老人クラブ連合会 活動推進員 松田 冴子 氏 ・女性部の活動について 女性部長 市川 初江 氏 ・情報交換会	おだわら 総合医療 福祉会館
	9	常任理事会 理事会	・「第51回小田原市老人クラブ連合会大会」について ・平成28年度「老人クラブ加入促進月間(10月～3月)」 事業の実施について ・秋季研修旅行について ・第43回シルバースポーツ大会について ・福祉友愛募金について 他	
8	10	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	・「食で生き生き!栄養教室」 (Eブロック 下府中・豊川地区対象)	川東 タウンセンター マロニエ
	24	西湘ブロック ゆめクラブ大学	・講話「生活不活発病の正体」 講師 神奈川県老人クラブ連合会 活動推進員 松田 冴子 氏 ・「抗重力筋運動」 講師 神奈川県老人クラブ連合会 活動推進員 松田 冴子 氏 ・「高齢者の栄養バランスについて」 講師 管理栄養士 古澤 洋子 氏 高齢者のための栄養バランスを考慮して調理された食 事の試食および栄養講話 ・「交通安全について」 講師 小田原警察署交通課 警部補 阿部 優 氏 ・「歩行環境シミュレータわたりジョーズ君」 講師 神奈川県警交通総務課 交通安全教育隊	おだわら 総合医療 福祉会館
9	6	常任理事会 理事会	・秋季研修旅行について ・第43回シルバースポーツ大会について ・第51回小田原市老人クラブ連合会大会について ・生きがいふれあいフェスティバルについて ・西湘ブロック高齢者訪問支援活動推進員研修会につ いて ・友愛チーム加入申し込みについて (平成28年度後期) ・共同募金運動(街頭募金)への参加協力について	
	7	体力測定 (健康づくり教室) [女性会員対象] *参加者 53名 [男性会員対象] *参加者 46名	・体力測定 ・講話 「高齢者の建工管理」 講師 小田原市高齢介護課 主任 小川 泉 氏	
	10	慰霊塔清掃	十字・二川・下曾我地区	市慰霊塔
	15	厚生部会	秋季研修旅行しおりづくり	
10	20	常任理事会 理事会	・第51回小田原市老人クラブ連合会大会について ・生きがいふれあいフェスティバルについて ・小田原創友クラブだより第68号について ・第43回シルバースポーツ大会について ・県老連理事長表彰審査結果について 他	おだわら 総合医療 福祉会館
		秋季研修旅行 責任者会議	・秋季研修旅行 説明	
	25~27	秋季 研修旅行	第1班 久野・緑・豊川・山王網一色・大窪・早川・ 下中・新玉地区	紅葉の 宮城蔵王と 城下町米沢・ 南東北2泊3日 の旅 ～蔵王の御釜・ 上杉神社・国宝 白水阿弥陀堂・ 塩谷崎・いわき 復興の足跡～
28~30	第2班 下府中・足柄・富士見・万年・東富水・芦子・ 桜井・二川地区			
3~5	第3班 曾我・上府中・幸・十字・下曾我・国府津・富水・ 酒匂地区			



創友クラブ 秋季研修旅行 「東北復興応援の旅」

下曽我地区
関野 弘行

良かったと後悔した。しかし休憩所にある駐車場から眺めた木々の紅葉は素晴らしく、まさに絶景であった。

つづいて、米沢に向かい上杉神社に参拝した。この神社は上杉謙信・上杉鷹山を祭神として米沢城本丸跡に建立された。

上杉神社は今も米沢市民の心の支えとなっていて、初詣やお宮参り結婚式や安全祈願などで四季を問わずに多くの市民が訪れている。神社内には宝物殿の権照殿があった。

次に、東光の酒蔵で試飲し酒を買って今夜の宿で飲むことにした。宿泊先は、穴原温泉「吉川屋」で昨夜と同様良い温泉で、3 回入浴した。

最終日は白水阿弥陀堂の見学から始まった。白水阿弥陀堂は岩城則道の妻徳姫(藤原清衡の娘)によって平安時代末期に建立された。徳姫は夫・則道の菩提を弔うために寺を建てて「願成寺」と名付け、その一角に阿弥陀堂を建立した。福島県唯一の国宝建造物に指定されている。参拝を終えてバスの車窓から薄磯地区の復興中の風景を見たが、前回来た時よりかなり整備されていた。

帰宅の途につき、バス降車時みんなお土産いっばいで出迎えを待つなど、賑やかな別れとなり、良い思い出となった。

10月3日より2泊3日の旅です。出発に当たり、バスの座席決め等皆でルールを決めた。何より大切なのは全力で楽しむこと。

まず初日は、遠刈田系こけしの見学、なにか変わった物は無いかいろいろ見て楽しんだ。蔵王酪農センターではチーズ製品を楽しむにしていたので、沢山買い込んだ。飲むヨーグルトは絶品であった。今日の宿泊先は遠刈田温泉「さんさ亭」各地区の自慢の歌等で盛り上がった。

2日目は、御釜へ行く途中で遠くに見える三階の滝を眺めて蔵王の頂上に到着、御釜は火口湖のことで五色沼とも言われる。茶色い石がごろごろあり、なかなか歩きにくく、結構な坂道であった。あまりの寒さと霧で火口湖は見えず、休憩所に引き返したが、ガイドさんの撮った映像を見て、濃い霧でめったに見えないと言う御釜が、これ以上ないというくらいには、はつきりとして感動した。また少し待てば

市老連旅行記 創友クラブ 秋季研修旅行 「紅葉の宮城蔵王・ 福島方面を訪ねて」

大窪地区 59区寿会
内田 京子

係の方が、麓は雨でも山の方は晴れている状況はよくある事ですからの言葉を半分だけ信じて1,841メートルの蔵王山頂を目指してバスは走る。途中広大な雲海に、思わず身を乗り出してまさに幽玄の美に目を奪われる。

そして山頂に近づくにつれて、また9月だから紅葉は無理だろうと勝手に期待していなかったのに、何と紅葉が始まっていて、常緑樹とのコントラストが何とも新鮮で見事な景観を見ることが出来た。雨もほとんど上がり、御釜も見学出来て、絶対皆の日頃の行いが善いせいだと思える程にしていた。

最終日は、いわき市内の国宝「白水阿弥陀堂」を参拝後、3.11東日本大震災で津波による大きな被害を受けた薄磯地域の盛り土が積まれた整備工事の様子を、車窓から見学しながら塩谷岬へ。そこで「やまろく」という店で九死に一生を得たという方の津波体験を聞いた。

この地域は人口761人の集落で、そのうち120人の方が命を落とし、いまだに10人前後の人が行方不明のままという。当時の様子を写した40枚程の写真が壁に貼り出されていたが、まだまだ沢山の写真を撮ったが、とても悲惨で、この場に貼り出すことはできないという。

仮設住宅の一戸建てや、マンションも建築されていた

が、若い人たちがもうこの地に戻りたくないと思われ、地を去って行ってしまっても構わぬとも話された。そして住民誰一人として、この地に大津波が来るなんて夢にも思ってもいなくなるとも話された。

一瞬にして平和が崩れてしまった薄磯の地。我々が訪れたこの日は「美空ひばり歌碑」の横に立って塩谷の海を眺めると、日本の灯台50選にも選ばれているという海抜73メートルの高台に建つ白亜の美しい灯台に抱かれて、かつて何事もなかったようにどこまでも青く穏やかな海原が続いていた。

小田原は津波の心配は余りないのでと時に耳にする事がある。私自身も心の中に安易な思いがよぎる事がある。絶対に津波が来ないという確証はない。改めて津波に対する認識を強く持った。

バスの中ではお喋りに花を咲かせ、あつと言つ間の楽しい3日間でした。最後は体重が増えた話で盛り上がり、道路事情等で若干予定より遅れたが、全員無事に意義ある旅行を終わった。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員投稿

今日を楽しく

富水地区 飯田岡第一寿会
下沢 芳郎

90歳を過ぎてきますと、同級生や趣味を通しての友達、近くに住む古い仲間の人たちも亡くなったり、病んだり、また介護施設に入ったりしてまわりからいなくなり寂しくなつてきます。

小学校の同級生で小田原市内に住む4人で時々食事会をやっていました。ここにきて4人のうちの2人が介護施設に入つてしまひショックでした。高齢で仕方ない事とはいえ、やるせない気持ちになります。

90歳になった時点で、電車とバスを乗り継いで通っていた二つの囲碁クラブを自分の意志でやめました。また小旅行やお花見などを楽しんでいたグループも、会員の高齢化で解散してしまいました。

旅行や会合などで外に出ることが無くなった今、楽しみにしているのは地域の老人会の集まりです。

近くにいっても、なかなか顔を合わせる事が少なく、3カ月に1回の久しぶりの顔合わせには話が弾みます。

お弁当をひろげ、お酒も少し入りお喋りを楽しみ、カラオケやビンゴゲームで和やかな雰囲気になります。

また、近くの温泉での日帰り入湯会もリラックスできます。



92歳になる私は今のところ、どこも悪いところも、痛いところもなく介護サービスの世話話にもならず生き延びています。

「転がる石には苔が生えない」と言うことわざがありますが、日常の暮らしの中で出来るだけ体を動かし少しでも歩くように心がけています。

明日のことなど考えず今日1日を楽しく過ごすようにしています。

シルバー人材センター 会員募集!!

健康で、働く意欲のある高齢者の就業をサポートする公益社団法人です。民間企業・家庭・公共機関などから仕事を引き受け、会員に提供します。毎月第3水曜日に説明会を行っています。

★連絡先

生きがいふれあいセンターいそしぎ内
☎0465 (49) 2333【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

小田原市シルバー人材センター

検索



平成29年度 小田原創友クラブ春季研修旅行

(お1人様)

24,500円

老舗旅館 長良川温泉「十八楼」ご宿泊

～桜舞う日本名城と博物館明治村ご見学・愛知観光名所を満喫1泊2日の旅～

行程

1 日 目	小田原市内各所 - 駿河湾沼津 SA(集結・休憩) - 長篠設楽原 PA(休憩) - 博物館 明治村(昼食・見学) - 11:30~14:15	夕
	6:15~7:00 出発 8:10~8:25 10:00~10:15	
2 日 目	長良川うかいミュージアム(見学) - 長良川温泉「十八楼」(宿泊) 16:20頃	朝 夕 弁
	15:20~16:10	
2 日 目	ホテル - 熱田神宮(参拝) - 名古屋城(桜鑑賞・見学) - サッポロビール名古屋ビール園 浩養園(昼食) - 12:20~13:10	朝 夕 弁
	8:00 発 9:30~10:00 10:30~12:00	
2 日 目	えびせんべいとちくわの共和国(買物) - 遠州森町 PA(休憩) - 足柄 SA(休憩) - 小田原各所 18:15~18:45 頃	
	14:05~14:40 15:25~15:40 17:10~17:25	

※道路状況及び天候不良等により一部行程が変更する場合がございます。

班	日程	地区
1班	4/2日~4/3日	山王・幸・久野・早川・大窪・上府中
2班	4/3日~4/4日	緑・二川・足柄・下曾我

班	日程	地区
3班	4/5日~4/6日	片浦・東富水・富士見・酒匂・十字・下中・万年・新玉・富水
4班	4/6日~4/7日	桜井・曾我・国府津・前羽・豊川・下府中・芦子

■申込方法／もよりのクラブ会長様に旅行代金を添えてお申し込み下さい
 ■お問い合わせ／小田原市老人クラブ連合会事務局
 TEL 0465 (32) 5800
 もしくはもよりのクラブ会長様へ

旅行取扱会社
伊豆箱根バス株式会社
伊豆箱根トラベル神奈川旅行センター
 TEL 0465(23)0266

会員文芸

俳句

片浦地区 相生クラブ 森本シズ子
 ・昨日ふたつ今日はひとつとゴーヤ採る
 ・曾孫の一日降らず運動会

富水地区 西北長寿会 熊坂 千枝
 ・元日や富士の雄姿よ晴れ渡る
 ・お年玉笑顔それぞれ孫五人

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
 ・母の日や笑顔が並ぶ祝い膳
 ・高梯子ばあば枇杷もぐ昼の月
 ・鎌畳み蟻螂離陸雲の峰

下曾我地区 相生会 永吉 正子
 ・学ぶこと多き先輩梅の里
 ・茶飲み会サイダー味の羊羹も
 ・手料理の芋煮のうまし茶飲み会

十字地区 銀杏の会 生田目茂子
 ・春眠や右脳にサイレン入りくる
 ・一湾を呑み込む速さ夏の雷
 ・夏逝くやおばけもしばし一休み

桜井地区 曾比和楽会 宮崎 悦子
 ・さくらんぼ高みに数個空の碧
 ・運動会嘆きの雨の河川敷

短歌

久野地区 宮本あゆみクラブ 湯川喜代子
 ・橋に立ち変わらぬ流れながめれば
 ・幼き頃の日々なつかしく

上府中地区 永塚睦会 海老原美智子
 ・働くは生きぬることのあかしとて
 ・庭に立ち出で雑草を抜く

・庭に出て仕事にはげみし夫なりき
 ・陽炎ゆるる庭に頭ちくる

桜井地区 城北健寿会 杉山 久子
 ・高校野球オリンピックも終りたり
 ・夕闇の庭に虫の声きこゆ

・両国の熱戦つづく秋場所に
 ・和服の女が涼やかに座す

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
 ・お別れに花かきわけて髪さする
 ・万感胸にばあばさよなら

・あるじなき部屋のシャッター閉めるとき
 ・間に浮出るばあばの笑顔
 ・敬老日孫子に奢る昼夕餉
 ・年金あればこそその楽しみ

川柳

町屋長楽会 大井川悦雄
 ・リオニュースメガネはいらない金の文字
 ・ハグされてバーベルさんもホットする
 ・ドンパチや国民投票無い願い

十字地区 銀杏の会 生田目茂子
 ・過疎の里乗客一人のバス走る

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
 ・虚しさやあのぐりぐりがこの始末
 ・位牌より入れ歯と葉持って逃げ
 ・推敲を重ねに重ね駄句のまま

詩

日々の雑感ばあばを偲ぶ

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男

君と歩いた下曾我の

たわわな蜜柑の切り通し

思い出ばかり心をめぐる

ああ初デートの日が恋し

君ふり向けば富士の影

足柄平野に灯がともる

黒髪清く目に残る

ああ初デートの面影よ

静かな静かな部屋の中

冷蔵庫の水が落ちる音

ああばあさんとただだふたり

写真のばあさん笑い顔

明るい明るいおろうそく

ときどき車の通る夜は

ああばあさんの思い出が

心のアルバム溢れ出す

(昔の歌の替え歌です)

原稿募集

◎「小田原創友クラブ」69号(29年夏号)に原稿をお寄せください。

単位老人クラブ活動記、日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳など。

*紙面の都合で長文の場合は分量をカットまたは次回に回しする場合があります。

*二重投稿、発表済みのものは受け付けません。

*活動記などは写真を添付してください。

*必ず氏名・地区名・クラブ名・電話番号を明記してください。

◎発行 平成29年8月 ◎締切日 平成29年5月15日

◆宛先

〒250-0055

小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会「小田原創友クラブ」教養部

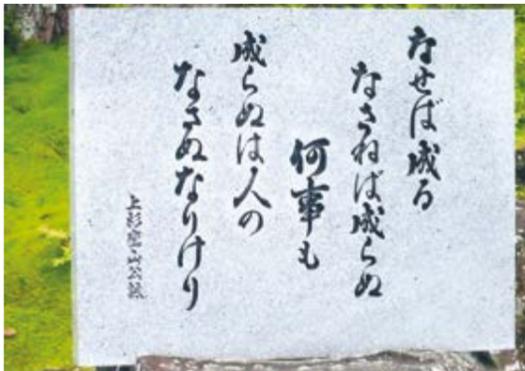
私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--



秋季研修旅行

「紅葉の宮城蔵王・福島方面を訪ねて」



シルバースポーツ大会

あとがき

平成28年度の役員改正で、教養部のメンバーも変わりました。先輩に指導を受けながら67号を発行し、読者の声を真摯に受け止め今回の68号を編集しました。本号発行に当たり、多数の会員から投稿をいただき、心より御礼申し上げます。

なお、次の69号に向かって、広く情報の収集に心がけ、新しい企画を加え、更に会員に愛される紙面づくりに教養部一同頑張ります。

皆さまのご支援よろしくお願いたします。（教養部）

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通じて会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

会 員 加 入 増 強 運 動 期 間 中 だ ぞ

平成26年から5カ年間で県老連では2万人の目標で実施致しております。

小田原創友クラブの推進項目として

- ◎ 未加入者宅にパンフレットの投函。
- ◎ 会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ◎ 未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。

※単位クラブ2名以上の増員が最低目標ですので皆さま全会員で努力しましょう。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています
